

鳥羽市地球温暖化対策地域推進計画（案）に対する意見概要と市の考え方

素案に対する意見概要	市の考え方
○市内全域で推進する重点的な取組として、太陽光発電システムの設置を促進するとありますが、「市は平成 18（2006）年から現在まで、市内の個人住宅向け太陽光発電の設置に対し助成をしています。」の記述は、現状に留まっています。目標を掲げた計画なので、今後どうするのかを示していただきたいと思います。	◎環境にやさしい住まいづくりを進めるため、今後も市内の個人住宅向け太陽光発電の設置に対し助成を行い、新エネルギーの普及促進に努めたいと思います。
○新エネルギーの導入に向けてですが、鳥羽の自然を活かした新エネルギーの利用・導入として、「離島部の独立電源としての新エネルギー導入」とありますが、なぜ離島部だけなのでしょう。	◎離島部に限らず、本市における「独立電源としての新エネルギー導入」についての取組を明記するよう環境保全審議会にて審議いたします。
○行政の取組の中で、普及啓発を行う際に、「情報提供の推進」として、「地球温暖化問題に関する情報をホームページや広報等、イベントや学習会等様々な方法で提供します。」とありますが、例えば広報誌で毎月取り上げるなど、最新の情報も含め定期的に提供していただきたいと思います。	◎低炭素社会の実現を目指し、温室効果ガスの削減を図るため、情報提供の推進としては、地球温暖化問題に関する情報をホームページや広報等において、定期的に提供していきたいと思います。 また、環境教育の推進としては、エコライフ、エコドライブ等の学習講座の充実を図り、開講準備が整い次第、年間の予定をわかりやすく示していきたいと思います。
○行政の取組の中で、普及啓発を行う際に、「環境教育の推進」として、「学習講座の充実を図ります。」とありますが、年間の開講予定をわかりやすく示していただきたいと思います。	